

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	理学部	生物科学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	タスマニア大学 (オーストラリア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Centre (semester1) Exchange Program (semester2)		
報告書提出日	2019年2月17日		
留学予定期間	2019年2月～2019年11月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 655 (AUD) /合計

航空券代： 199,000 (円) /合計

ビザ申請関連費： 550 (AUD) /合計

その他（教育費）： 626,000 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

早めの準備が大切。

ビザの申請には、大学の入学許可証や英語のエッセイなど、準備に時間のかかるものが必要になる。

航空券の予約が遅くなってしまった。出発日が旧正月休みと重なったため、チケットを取るのが大変だった。

入学許可証をもらうには、教育費を事前に支払う必要がある。

### 1.2. 渡航について

成田国際空港→メルボルン空港→ホバート国際空港

空港から滞在先までは、事前に申し込みをすると大学の送迎サービスを利用することができる。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

空港でホストファミリーと会い、その後、部屋や家具、周辺環境などの説明を受けた。

### 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

特になし。

## 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

2/8 にオリエンテーションとプレイスメントテストが行われた。オリエンテーションでは先生やアドバイザーの方々の紹介、タスマニアで生活する上での注意事項、大学のキャンパス案内などが行われた。その後、プレイスメントテストを受けた。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

英語でスムーズにコミュニケーションを取れるようになる。  
タスマニアの環境を生かして、生物の多様性について学ぶ。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

スピーキングが弱い。自分の英語力に不安を感じて、声が小さくなったり、自信なさげに話したりすることがある。多少のミスは気にせずに、もっと堂々と積極的に英語でコミュニケーションをとるように心がけたい。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

授業内の話し合いでしっかりと自信を持って自分の意見を言えるようにする。  
毎日授業の復習をする。  
レベル5のテストに合格する。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期		
月	9:00-11:00 英語	11:00-11:25 休憩	11:25-1:25 英語
火	9:00-11:00 英語	11:00-11:25 休憩	11:25-1:25 英語
水	9:00-11:00 英語	11:00-11:25 休憩	11:25-1:25 英語
木	9:00-11:00 英語	11:00-11:25 休憩	11:25-1:25 英語
金	9:00-11:00 英語	11:00-11:25 休憩	11:25-1:25 英語
土			
日			

### 4.2. 授業について

英語  
ノートの取り方やパラフレーズの仕方、ディスカッションなど、大学の授業で必要なスキルを学んだ。グループ内やクラス内での話し合いが授業の大半を占めるため、英語を話す機会が多い。授業のスピードはそれ程速くない。

#### 4.3. 予習・復習・自習について

英語

授業前に、その日に行われるディスカッションのテーマを確認して、ある程度自分の意見をまとめておくようにしている。

その日にしたことをその日のうちに復習するように心がけている。授業で学んだ単語や表現を日常会話の中で使って身につけるようにしている。

### 5. 生活について

#### 5.1. 衣食住について

住居

ホームステイ

ホストファミリー1人と自分の二人暮らし。

自分用の部屋とバスルームがあり、その他の場所は共用。

周辺環境 近くにスーパーマーケットがある。

大学へのアクセス バスで約40分。

#### 5.2. 課外活動について

授業後に新しくできた友達とベトナム料理を食べに行ったり、ショッピングをしたりした。

ホストファミリーとご飯を食べに行った。

今サークルを探している。

#### 5.3. 現在までの感想

会う人が皆優しく親切なので、今のところは毎日楽しく生活できている。英語の授業は日本と違い、ディスカッションが多く、英語を話す機会が多いため、少し苦戦している。私はスピーキングが弱いので、授業や授業以外の場所でも、英語を積極的に話すように心がけている。

以上

神奈川県立大学派遣交換留学生 近況報告書（4月）

所属	理学部	生物科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	タスマニア大学 (オーストラリア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Centre (semester1) Exchange Program (semester2)		
報告書提出日	2019年4月7日		

## 1. 目標について

### 1.1. 留学の目的、達成目標

英語でスムーズにコミュニケーションを取れるようにする。タスマニアの環境を生かして、生物の多様性について学ぶ。

### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

前よりも堂々と英語を話せるようになった。英語でうまく伝えられなかった事やわからなかった単語は、後で調べて、次の機会に実際に会話の中で使ってみるよう心がけた。毎日授業の復習をした。レベル5のテストに合格した。

### 1.3. 今月の学習・研修目標

リスニングが弱いので、毎日英語のニュースやドラマをみる。英語でうまく伝えられなかったことはそのままにせず、後で調べて、その後実際に使ってみる。レベル6のテストに合格する。

## 2. 学修について

### 2.1. 授業について

英語 レベル6

レベル5よりもより大学の授業に近い内容なので、難しい。最後にグループプレゼンテーションがあるため、授業外の時間にグループで準備することも必要。週に400字程のエッセイが2つ課せられる。

### 2.2. 予習・復習・自習について

英語

授業前に、その日に行われるディスカッションのテーマを確認して、ある程度意見をまとめておくようにしている。

英語のニュースやドラマを見てリスニングの練習をしている。

エッセイでなおされた部分を見直して、次の課題ではミスしないように注意している。

### 2.3. 語学力について

スピーキングは少し伸びてきた。先月よりも堂々と話せるようになった。今月も積極的に英語でコミュニケーションをとる機会を持つように心がけたい。授業の課題でエッセイを書く機会が多かったので、英語でどのようにレポートを書けばいいのかわかってきた。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居*	ホームステイ (その他: )
ホストファミリー1人と自分の二人暮らし。 自分用の部屋とバスルームがあり、その他の場所は共用。 周辺環境 近くにスーパーマーケットがある。 大学へのアクセス バスで約40分。	

### 3.2. 課外活動について

休日は映画館やプール、ピクニックによくいく。 日本食レストランに行き、海外の友達に日本の料理を紹介した。 浜辺でバーベキューをした。 美術館やアートギャラリーが多いので、よく行く。
---

### 3.3. 現在までの感想

勉強と遊びの切り替えがしっかりできていると思う。 会う人が皆優しく親切なので、ホームシックにもならず、毎日楽しく過ごすことができている。 色々なバックグラウンドを持つ人に出会って、自分の視野が広がったと思う。
--

以上

神奈川県立大学派遣交換留学生 近況報告書（8月）

所属	理学部	生物科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	タスマニア大学 (オーストラリア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Science		
報告書提出日	2019年8月19日		

## 1. 目標について

### 1.1. 留学の目的、達成目標

英語でスムーズにコミュニケーションを取れるようにする。タスマニアの環境を生かして、生物の多様性について学ぶ。

### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

チュートリアルではグループで1つの課題について意見を出し合い、それをまとめてクラスの前で発表しなければならないが、課題内容が難しいので、英語で自分の意見をまとめて言うことはより難しい。

### 1.3. 今月の学習・研修目標

実習の授業では積極的に先生やクラスメイトとコミュニケーションをとる。授業の内容を復習し、その内容を英語で話す練習をして、チュートリアルでクラスメイトと意見交換できるようにする。

## 2. 学修について

### 2.1. 授業時間割

現在の学期	後学期
月	Earth Resources, Environments and Evolution(1:00-2:00 座学、2:00-5:00 実習)
火	Earth Resources, Environments and Evolution(9:00-10:00 座学、10:00-11:00 チュートリアル)Ecology(1:00-2:00 座学)
水	Ecology(10:00-11:00 座学,11:00-12:00 チュートリアル,2:00-5:00 実習)Cell Biology, Genetics and Evolution(12:00-1:00 座学,1:00-2:00 チュートリアル,2:00-5:00 実習)
木	
金	Cell Biology, Genetics and Evolution(12:00-1:00 座学) Earth Resources, Environments and Evolution(1:00-2:00 座学)
土	
日	

## 2.2. 授業について

### Cell Biology, Genetics and Evolution

内容 遺伝学、細胞生物学、進化

座学 2時間/週 進度が速いので、授業についていくのが難しい。

実習 3時間/2週間 実験室で実験。時間内にグループで実験をし、レポートを提出する。

チュートリアル 1時間/週 参加は自由。与えられた課題に対しグループで答えをまとめて、発表する。

### Ecology

内容 行動生態学、進化

座学 2時間/週 進度が速いので、授業についていくのが難しい。

実習 3時間/2週間 実験室で実験、またはフィールドワークを行う。時間内にグループで調査を行い、結果をまとめ、レポートを提出する。

チュートリアル 1時間/週 参加は自由。与えられた課題に対しグループで答えをまとめて、発表する。

### Earth Resources, Environments and Evolution

内容 鉱物、化石

座学 3時間/週 進度は普通。

実習 3時間/週 石や化石の調査をし、時間内にレポートを提出。

チュートリアル 1時間/週 参加は自由。与えられた課題に対してグループで答えをまとめて、発表する。

## 2.3. 予習・復習・自習について

### Cell Biology, Genetics and Evolution

予習 事前にパワーポイントを確認して分からない英単語の意味を調べておく。

復習 授業のパワーポイントやノートを見返して、その内容について英語で説明できるようにする。

### Ecology

予習 事前にパワーポイントを確認して分からない英単語の意味を調べておく。

復習 授業のパワーポイントやノートを見返して、その内容について英語で説明できるようにする。

### Earth Resources, Environments and Evolution

予習 事前にパワーポイントを確認して分からない英単語の意味を調べておく。

復習 授業のパワーポイントやノート、チュートリアルで出た課題などを見返して、自分でその内容を英語で説明する。

## 2.4. 語学力について

授業のために、文章を多く読まなければならないので、リーディングの能力は伸びたと思う。ディスカッションで発言することが少ない。ディスカッションに参加できるように、事前に授業の内容について英語で話す練習をしたい。

## 3. 生活について

### 3.1. 衣食住について

住居※      ホームステイ（その他：      ）

ホストファミリー2人と自分。

ホストファミリーとは、一緒に映画を見たり、買い物に行ったり、楽しい時間を過ごしている。  
自分用の部屋とバスルームがあり、その他の場所は共用。  
周辺環境 近くにスーパーマーケットがある。  
大学へのアクセス バスで約 40 分（乗り換え 1 回）。  
食事 基本的に自炊。時々大学のカフェを利用したり、市内のレストランに行ったりする。

### 3.2. 課外活動について

日本料理レストランに行って友達に日本文化を紹介した。大学のツアーで、ブルーニー島を船で回った。  
動物園に行き、タスマニアンデビルなどの珍しい動物を見た。カンガルーに餌をあげた。Bushcare のボランティアに参加して、森の中の道を整備した。スケートやゴルフをした。

### 3.3. 現在までの感想

授業内のフィールドワークや大学のツアーなどで、タスマニアの自然に触れ合う機会が多く、とても充実した日々を過ごしている。色々な人に出会って、話をする事で、自分の価値観が広がったと思う。  
前期よりも課題やテストが多いので、とても忙しい。

以上



# 神奈川県立神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	理学部	学 科	生物化学科	4	年次
派遣先大学 (国)	タスマニア大学 (オーストラリア)				
所属プログラム・ 学部・研究科	English Language Centre Faculty of Science	履修言語	英語		
留学期間	2019年2月～2019年11月				
報告書提出日	2019年12月13日				

## 1. 学修について

### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Semester1 (ELC)	2月12日 ～6月7日 (17週)	6月3日 ～6月6日	クラス分けテストの結果、レベル5からの受講が認められた。5週間ごとの試験に合格すると、次のレベルのクラスを受講できる。レベル5, 6, 7のクラスを受講した。
Semester2 (大学)	7月15日 ～10月20日 (14週)	10月26日 ～11月12日	ELCでレベル7のテストに合格したため、大学での授業をとることが認められた。オンラインでシラバスを確認し、大学の交換留学生マネージャーの方に取りたい授業を伝え、履修登録を行った。

### 1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
Semester1	UTAS Access Level 5	100 時間	リスニング、スピーキング、ライティング、リーディングの授業、期末試験がある。毎週違うテーマに沿って、それぞれの授業が行われる(テーマ例 情報科学、多文化社会など)。プレゼンテーションの仕方や小論文の書き方を学んだ。1人1つずつテーマを決めて、それについて7分ほどのプレゼンテーションを行った。150字程度の小論文を何回も書いた。グラフなどのデータの説明の仕方を学んだ。
		4(時間/回) ×5(回/週) ×5(週)	

Semester1	Level 6	100 時間	Level5 の試験に合格したため、Level6 の受講が認められた。基本的な授業の進め方は Level5 と同じ。4, 5 人のグループでひとつの企業について SWOT 分析を行い、プレゼンテーションをした。エッセイの書き方を学んだ。400 字程度のエッセイを書いた。
		4(時間/回) ×5(回/週) ×5(週)	
Semester1	Level 7	100 時間	Level6 の試験に合格したため、Level7 の受講が認められた。基本的な授業の進め方は Level5,6 と同じ。大学の課題でよく出題されるリサーチエッセイの書き方を学んだ。論文の探し方、要点のまとめ方、参考文献の記し方などを学んだ。最後のスピーキングテストでは、1つのテーマについて 30 分間のグループディスカッションを行った。Level7 のテストに合格したので学部の授業の履修が認められた。
		4(時間/回) ×5(回/週) ×5(週)	
Semester2	Earth Resources, Environments and Evolution	97 時間	講義が月、火、金に 1 時間ずつ。月曜日に 3 時間の実習。火曜日に 1 時間のディスカッションのクラス。内容は、鉱物、古生生物、化石燃料、自然災害、地下水、タスマニアの地質。実習では、タスマニアの岩石、化石の観察をしたり、フィールドワークとして、実際に地質を調査したりした。ディスカッションのクラスでは授業の内容について 3, 4 人のグループで話し合い、要点をまとめて、クラスの前で発表した。
		1(時間/回) ×7(回/週) ×13(週) +6 時間(Field trip)	
Semester2	Ecology	57 時間	講義が火、水に 1 時間ずつ。2 週間に 1 回、水曜日に 3 時間の実習。木曜日に 1 時間のディスカッションのクラス。内容は進化や生態学、動物行動学、自然保護について。実習では、森林の調査や動物の行動パターンの実験などをした。ディスカッションのクラスでは、授業の内容をグループで話し合って図にまとめ、クラスの前で発表した。
		1(時間/回) ×3(回/週) ×13(週) +3(時間/回)×6(回/週)	
Semester2	Cell Biology, Genetics and Evolution	57 時間	講義が水、金に 1 時間ずつ。2 週間に 1 回、水曜日に 3 時間の実習。水曜日に 1 時間のディスカッションのクラス。内容は、細胞生物、遺伝子、進化などについて。実習では、実験を行い、その結果をレポートにまとめ、実験後に提出した。課題として、遺伝病について 2000 字の小論文を提出した。
		1(時間/回) ×3(回/週) ×13(週) +3(時間/回)×6(回/週)	

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

予習としては、事前に配られるパワーポイントや教科書を読み、わからない単語の意味を調べておきました。授業中は、疑問に思ったことをその場で教授に質問して、分からないことはその場で解決するように心がけました。海外の大学の授業では、正誤に関わらず、まず自分の意見を持つことが重要だったので、質問する前に必ず自分で考えて、自分の意見を持つようにしました。授業後はノートを見返したり、友達と話し合ったりしながら復習をしました。また、教授に質問に行くと、時間をかけてしっかりと説明して下さいました。

### 1.4. 語学力について

留学前にも毎日英語を使うように心がけていましたが、実際オーストラリアにいて自分の英語が全く通用しないことに驚きました。特に、リスニングとスピーキングには苦労しました。最初は英語で会話することに苦手意識を感じてしまい、消極的になってしまったのですが、途中から気持ちを切り替えて、恥の気持ちを捨て、積極的に英語を使うようにしました。また、同じく英語を勉強していた様々な国の友達と授業後に復習をしたり、雑談をしたり、楽しみながら英語を使うようにしました。その結果、日常会話がスムーズに行えるレベルに英語が上達したと思います。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

#### 英語

私は英会話を特に上達させたいという目標があったので、積極的に人と英語で会話をするように心がけました。最初は自分の英語に自信が無く、話すときに消極的になってしまいましたが、途中から気持ちを切り替えて、実力は無くても自信をもって会話をするようにしました。その結果、英語を話す機会が増え、最終的にはスムーズに日常会話をできるまで英語が上達したと思います。

#### 専門分野

フィールドワークとして実際にタスマニアの自然に触れながら学習ができたことは日本ではできない貴重な体験でした。現場で学ぶことで自分から考えるきっかけになり、知識がより定着したと思います。海外では一つの正解を導くのではなく、自分の頭で考えて自分の意見を持つことが重要だということを学び、実践してきました。その結果、今回の授業だけにとどまらず、この先の学習や研究に生きてくる考え方を学べたと思います。

### 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

#### 英語

英会話の中でわからなかった表現をわからないままにになってしまう事が多かったのが残念だと思っています。面倒くさがらずに、わからない英語はすぐに調べたり、質問したりして、全て吸収していけると、確実に早く英語力があがると思いました。

#### 専門分野

予習をより時間をかけてしていたら、授業中に先生やクラスメイトと内容について議論できる時間がより持てたと思います。予習をしっかりして、自分の意見を英語で言う練習をすることで、余裕をもってディスカッションや実習に臨めると思います。学部の授業は英語ができることが大前提なので、学部の

授業が始まる前に英語力をある程度高めておく必要があると思います。

### 2.3. 留学生活で得られたもの

主に2つあります。一つ目は広い視野です。留学先で多様なバックグラウンドを持つ人と交流する中で、自分の常識は当たり前ではないということに気づかされました。例えば、私の友達のほとんどは自分の国にいることに危機感を覚え、永住権を取得するためにオーストラリアで勉強をしていました。私の留学の目的を言うと多くの人から羨ましがられました。初めて自分は恵まれているということに気づかされました。二つ目は人を思いやる気持ちです。うまくいかないことが多く不安になる中で、本当にたくさんの人に助けられ、周りの人の優しさを身にしみて感じました。新しい環境に身を置いて、自分の無力さを感じていなければ、周りの優しさに気づけていなかったと思うし、自分も思いやりの気持ちの重要さに気づいていなかったと思います。

### 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

勉強と遊びのメリハリをしっかりとつけるといいと思います。私は、休日や夕方は友達やホストファミリーとの時間を大切にしていたので、授業後すぐや朝に集中して勉強して、その他の時間は何も考えずに遊ぶように心がけていました。

留学する前に自分の目標を明確にした方がいいと思います。そうすると留学中に辛いことがあった時も自分のしなければならぬことが明確なので、怠けることも少なくなると思います。

長期休みにオーストラリアを旅行したため、お金が想像以上にかかってしまいました。長期休みの旅行も考慮して、お金を用意しておくといいと思います。

スマートフォンが壊れて使えなくなってしまう、誰とも連絡が取れなくなってしまうことがありました。連絡先は別の場所にメモしておいて、そういった緊急事態に備えておく心安心だと思います。

タスマニアは基本的には安全ですが、友達が財布を盗まれたり、パーティーなどで麻薬の取引などもあったりするらしいので、防犯対策は気を抜かずしっかりとした方がいいと思います。

フットワークを軽くして、いろいろな場所に顔を出してみると新しい発見がたくさんあって楽しいと思います。自分は、留学中は意識して新しいことに挑戦するようにしていました。その結果、今までにない発見があったり、友達の輪が広がったりして、自分の視野が広がったと思います。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年12月13日

所 属	理学部 ( ) 研究科	生物科学科・専攻	4 年次
派遣先大学	タスマニア大学		10 ヶ月間

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
2	住居形態の詳細を教えてください。	(オーストラリア出身のホストファミリー2人、共同のキッチン、リビングルーム、バスルーム、寝室3部屋 )
3	入居時手続き	( 渡航前に大学のホームページで申し込み、デポジットを支払い、現地でホストファミリーから居住時のルールなどの説明を受ける。 )
4	費用 (月額)	940 (AUD) ( 食費含まない/月)
5	支払方法	半月ごとにクレジットカードで支払い
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ベッド、作業机)
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ( )
8	周囲環境	(バス停(徒歩2分)、スーパー(徒歩15分) )
9	アクセス	(バスで40分(一回乗り換え)、往復約5AUD )
10	留学中の住居に関して アドバイス	(タスマニアは交通機関があまり整っていないため、居住先を決める際に、大学へのアクセス方法を確認しておくといよい。 )
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
12	詳細を教えてください	( )

### II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	加入式(月額支払)
3	現地携帯電話の取得手	(渡航前にインターネット上で契約した。 )

	続きの方法	
4	自宅のインターネット 接続環境	無線（大学または寮への LAN 接続）
5	大学内インターネット 接続環境	無線（大学または寮への LAN 接続）

### III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均）		
1	宿舍費	940 (AUD) /月
2	食費	500 (AUD) /月
3	交通費	100 (AUD) /月
4	通信費	30 (AUD) /月
5	娯楽費	150 (AUD) /月
6	図書費	0 (AUD) /合計
7	学用品（教科書など）	20 (AUD) /合計
8	被服費	20 (AUD) /合計
9	医療費	0 (AUD) /合計
10	雑費・その他	20 (AUD) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む）		
11	出願料・宿舍デポジット	470 (宿泊デポジット) (AUD) /合計
12	ビザ申請関連費	600 (AUD) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	2000 (AUD) /往復
14	その他	ELC 前期授業料 5000 (AUD) /合計
15	<b>留学全日程に要した総額（概算）</b>	<b>25000 (AUD) /合計</b>
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：50000 円） <input type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名： ） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input checked="" type="checkbox"/> その他（キャッシュパスポート 1 枚、クレジットカード 2 枚）	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス	ELC に行く場合、渡航前に約 50 万円を支払う必要がある。高額であり、海外送金の手続きにも時間がかかるため、早めの準備が必要。

#### IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	Medibank OSHC Single (10 か月分で 6 万円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	はい
3	海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けた
4	どのような方法で適用を受けましたか？	立替の上、後日返金
5	日本から持参した方が良かったなと思う薬などがありますか？理由はなんですか？	

#### V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 常備薬、化粧品、服、パソコン、海外用変換プラグ、コンタクトレンズ、日本のお土産
2	現地で購入したもの ドライヤー、日用品、生理用品
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの 軽いノートパソコン (授業で使うため持ち運びしやすいものがない)、海外用変換プラグ複数 (1 つでは足りなかった)

#### VI. 留学先で困ったこと

祝日にはほぼ全てのお店が閉まる。バスが遅れたり、来なかったりする。タスマニアはとても乾燥しているため、肌が荒れた。

#### VII. その他、後続の学生へのアドバイス

服や日用品などはある程度現地で調達することができるので、最低限日本から持っていけば十分だと思う。日本のお土産を渡すととても喜んでもらえて、仲良くなるきっかけになった。